



第9期トビタテ！留学 JAPAN 留学終了報告

日本人高校生・大学生に海外留学を経験する機会を広く提供すべく奨学金が支給される官民協働プロジェクトであるトビタテ！留学 JAPAN は現在 10 期目の応募が始まっております。2024 年度第9期の選考に通過した高校1年生が夏休み中に留学した際のレポートは既に掲載しました。もう1名の高校1年生がこの冬にオーストラリアに短期留学しましたのでレポートを寄せてもらいました。お目通しいただけますと幸いです。

高校1年5組 堀江 亮太

私は一ヶ月前、オーストラリアのシドニーに語学留学に行きました。2024年の春、文部科学省主催のトビタテ！留学 JAPAN（以下、トビタテ）という留学生応援プロジェクトに応募し、奨学金を得て冬休みの間、三週間の留学をすることができました。トビタテでは、語学留学以外の点でも自分が海外に行って何をしたいのか、将来何を学びたいのか、自分が興味のあることをアピールする必要があります。私が留学のテーマとして選んだのは「交通」です。海外の電車に乗りたかったという単純なきっかけから、交通の視点から見たライフスタイルの違いに興味を持ちました。日本と海外では交通に対する意識が異なるのではないかと仮説を立てました。例えば東京では車を使う人が少なく、大半の人が電車やバスなどの公共交通機関を利用していますが、地方では車が主流です。このような違いを通して、ユニバーサルデザインの観点から日本の交通機関とシドニーの交通機関とを比較し、また、各交通機関の利用者へのインタビューから日豪両国におけるサービスの利便性や満足度を分析しました。

次に、海外に留学すること、トビタテに応募することのメリットについてです。この作文も実はトビタテのエヴァンジェリスト活動の一環であり、留学に興味がある人を増やすための活動なのですが、その上で、留学するメリット、トビタテに応募するメリットを簡単に述べたいと思います。まず、英語への苦手意識の軽減です。留学中は、英語だけで他人の指示を聞いたり、自分がして欲しいことを英語だけで理解したり伝える必要があります。英語だけでコミュニケーションを取ることで、考えるより先に英語で話し始めることができ、英語を話すことへの苦手意識が減りました。英語の点数が直接上がることはあまりないかもしれませんが、英語を話すことに対する躊躇がなくなるのは大きな進歩です。私の場合、交通というテーマで、現地の人々にインタビューを英語で行いました。話しかける前は緊張しましたが、皆優しく接してくれました。この経験を通じて、外国人への偏見がなくなりました。日本語に逃げず、全てを英語で伝え切るのは思ったよりも大変でしたが、英語で何とか伝え切ろうとすることが大切だと分かりました。また、異文化交流ができることも貴重な経験です。海外の同世代の若者と知り合い、意見を交わすことは人生において必ず役立つ経験です。私の通っていた語学学校では、同じ教室内でアメリカ、フランス、チリ、サウジアラビアなど10の国籍の学生が集まっていました。他にも、トビタテに参加するメリットも多くあります。トビタテでは、自分のテーマを動機から緻密に設定する必要があります。自分が海外で何をしたいのか指針が明確になります。特に海外は生活に慣れるだけで一週間程度かかるため、短期留学の人は時間が限られている中で目的を見失いがちです。ま

た、トビタテの高校生コースでは、全国からほぼ同じ年齢の人が700人ほど集まるため、同世代の人から刺激を受けることができます。例えば、バレエの技術を学びたくてヨーロッパに行く人、発展途上国の教育に興味があり将来は国連に入りたいと考えている人、飛行機が好きで留学する人など、理由は人それぞれで個性があるため、事前研修や事後報告会の発表で、互いに意見を交わすことでさまざまな気づきがあると思います。このように、シドニーでの語学留学を通じて得た経験は、私にとって非常に貴重なものとなりました。トビタテ！を通じて、自分の興味を深めることができただけでなく、英語力の向上や異文化交流の重要性を実感することができました。この経験を活かし、これからも積極的に海外での学びを追求していきたいと思います。



ホストマザーと一緒に



語学学校で知り合ったフランス人留学生

JEIMUN（日本教育国際模擬国連大会）参加報告



1月11日（土）～13日（月）の3日間に渡り日本教育国際模擬国連大会が国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。通常国内で開催される模擬国連の大会ですと、公式スピーチは英語を使用しますが、最も長い時間が割かれる非公式討議（大使が自席を離れて政策・方針が近い国同士で集まり話し合う形式）では日本語が使用されます。昨年からは始まった JEIMUN ではこの非公式討議も含めて全て英語が使用されます。今回は海外の学校からもエントリーがありました。言語という観点からはかなりハードルが高くなる訳ですが、英語を母語とする海外の生徒が有利になるかという点と必ずしもそう

とも限らないというのが議場で見学していた際の実感です。日本人でありながら見事に英語を操りながら交渉を進め、議論をまとめていく頼もしい生徒諸君の姿を数多く目にしました。本校からは2名の生徒がカナダ大使としてエントリーし、それぞれ感想を寄せてもらいました。ぜひご覧下さい。

高校2年2組 田口 尋一郎

この度 JEIMUN に参加させていただきました、田口尋一郎です。今回の会議は交渉が全て英語で行われたため、事前準備の段階からペアの嶋谷君と英語で会話し、対策をしました。そのため会議当日は比較的スムーズにオールイングリッシュの環境に馴染むことができたと感じています。しかし今回はそれ以上に模擬国連の難しさを改めて実感する会議になりました。各国の大使を気遣いつつ、自らの国の政策を共有し、さらに議場全体に対して発言して議論をリードする。これらを全てこなすことはとても大変ですが、議場において存在感を発揮し、最終的に賞を狙うためには必要なことだとも感じました。ただ模擬国連は難しい競技という側面もありますが、とても楽しい活動であることに変わりありません。議場内においては、立場の異なる国と交渉し、時には失敗しつつも妥協点を探す過程や、グループで議論してともに決議案を作り出すことに充実感を感じました。また英語会議だったため海外やインターナショナルスクールからの参加者も多く、模擬国連以外では知り合えなかったであろう人たちと仲良くなってご飯に行くなど、議場外においてもとても楽しい会議でした。今回は賞に届きませんでした。だからこそ会議を振り返る過程で模擬国連について深く考えさせられる機会となりました。ぜひ海城の後輩にも来年以降挑戦してみしてほしいと思います。最後に、僕の誘いに応じて一緒に参加してくれた嶋谷君、そして学校が休みの中引率に来てくださった岡崎先生に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

高校1年7組 嶋谷 瑞月

これまで出た会議は全て日本語と英語のハイブリッドで、完全な英語模擬に出ることができて非常に貴重な体験となりました。

自分は日本語よりも英語の方が得意で、日本語模擬では思うように発言ができなかったこともありましたが今回はすごく心地よい雰囲気楽しかったです。

英語模擬ということもあり、インターナショナルスクールや海外校からの生徒も多く来ていて、会議中の空気もかなり軽く、全日のような競技性よりも「楽しむこと」を重視していました。岡崎先生、二日間の引率ありがとうございました



会議前風景 (左: 田口君 右: 嶋谷君)



非公式討議風景 (海城生2名も議論をリードしていました)

カナダ大使館後援カナダ留学フェア 2025 春開催のお知らせ (全学年対象 無料)

カナダの小・中・高校、語学学校、カレッジ、大学の担当者が来日し、ブース出展を行います。ブースには通訳もおり、英語が話せない方も安心してご参加いただけます。カナダ大使館スタッフによる特別セッションも実施されます。

日時: 2025年3月20日(木・祝) 11:00-16:00

場所: 赤坂インターシティ Air 4階 赤坂インターシティコンファレンス

東京メトロ 溜池山王駅 14番出口直結

費用: 無料・入退場自由ですが、事前登録(来場予定の代表1名)が必要となります。登録は各自でお願いします。

詳細は下記のウェブサイトをご確認ください。1月27日現在では当日のセミナースケジュールについては後日掲載との記述となっております。

イベント詳細(参加教育機関・事前登録など)

<https://www.canada-ryugaku-fair.com/spring2025/>

カナダ大使館後援 2025春留学フェア 東京・大阪で開催します!



ウェブサイト上でこのような基本情報を閲覧することもできます。